

【緑地を楽しむ本】

『だいどころのたね』

大久保成徳・監修 久保秀一・写真 ふじいかずえ・イラスト



きんときまめに始まり、台所にある「たね」をまいてみる、まいてみる。

ごま、ポップコーン用のとうもろこし、いちごは、土にまき、成長し、花をつけてまた実

(たね)ができるまでを追っている。それだけ

ニトマトなどなど、数えてみたら23種の「たね」から芽が出た写真が見開きいっぱい並んでいる。

芽が出ている写真は、やはりそれだけで、生命の不思議さ、力強さを感じさせてくれる。

たねをまき、その芽吹きを楽しむ。そんなささやかな、でも確かな喜びを子どもたちとわかちあう生活を守ることの大切さを、しみじみと感じる。
(遠藤)